

# 競技注意事項

今後、新型コロナウイルス感染症の影響で、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生した場合や発生する恐れがある場合は必要に応じて大会中止とする。中止となる場合は、当大会ホームページ等で告知する。

本大会参加者は別途定められた、「全日本実業団対抗陸上選手権大会開催に向けたガイドライン（以下：ガイドライン）」に従い行動すること。大会主催者は、大会前や当日に発熱や体調不良が確認された場合、該当競技者の出場を認めない場合がある（詳細はガイドラインに記載）。

## 1 競技規則について

本大会は、2021 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。

## 2 最終エントリー確認手順

《別紙参照：【重要】2021 年全日本実業団選手権 最終エントリーおよび 1500m以下の種目の当日番組編成実施・運用方法について》

- (1) 当大会は、リレー種目及び 1500m以下のトラック種目の予選及びタイムレース決勝を対象に、欠場者を除いた競技者により、競技実施当日に競技の番組編成を行う。

出場意思確認（以下、**1次招集**とする）は競技者受付にて**全種目実施**。各競技開始 2 時間前までに完了すること。**※招集所：2次招集**

- (2) 最終エントリーの確定は、各競技開始 2 時間前までの 1 次招集及び欠場届により行う（全種目）。

下記対象種目においては、エントリーリストから当日番組編成を実施する（スタートリスト）。

対象種目：男女 100m・男女 200m・男女 400m・男女 800m・男女 1500m・男子 110mH・女子 100mH・  
男女 400mH・男女 4×100mR・男子 4×400mR（全 17 種目）

※対象外の種目に関しても、欠場する場合は必ず「欠場届」を提出すること

締切時間：対象種目の予選・タイムレース決勝の第 1 組競技開始 2 時間前まで

実施場所：アスリートビブスの受取等（競技者受付）、欠場届の提出先（メールまたは T I C）

- (3) 欠場届について

本大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出する（メールまたは T I C）

【欠場届の提出方法について】※全種目対象

- ① 9/23（木）までに届ける場合はメールにて受け付ける。
  - ② 大会期間中については、T I C またはメールにて受け付ける。  
※指定のメールアドレス(jitaTF.info@gmail.com)宛に「欠場届」を添付して提出する。  
※メールタイトルを、【2021 選手権欠場届\_チーム名称\_チーム連絡責任者氏名】とすること。
  - ③ 提出日時は、大会申込後から大会当日の各種目競技開始 2 時間前までとする。  
※提出期限以降もケガ等で止むを得ず欠場する場合も、速やかに提出すること。
- (4) 確定した当日番組編成は、各競技開始 90 分前までに日本実業団連合当大会ホームページの速報サイト（以下、速報サイト）に掲載する。

### 【要注意：全種目対象】

- 競技者受付及び T I C 受付開始時間は、以下の通りとする。
  - ・9/24（金）13:00～ 9/25（土）8:00～ 9/26（日）7:30～
- 欠場が確定している場合は、期日にかかわらず速やかに「欠場届」を提出すること。
  - ・最終エントリー締切以降の止むを得ない事情(ケガ・病気等)で欠場する場合も提出
  - ・次ラウンド進出後の欠場の場合も、速やかに提出
- 「欠場届」の提出なく欠場した場合は、次年度の本大会に出場を認めない処置を講ずることがある

### 3 練習場および練習について

- (1) 練習は「練習会場に関する注意事項」を確認の上、危険防止に十分注意し、競技役員の指示に従うこと。※集団では行わず個別で行うなど、「3密」を避けること
- (2) ヤンマーフィールド長居【サブ】は、投てき種目の練習が始まるとトラック練習場所を一部制限する。詳細は「練習に関する注意事項」を参照。
- (3) 投てき種目の練習は、危険をとまなうので、各種目とも競技開始前に競技役員の指示に従うこと。

### 4 招集（2次招集）について ※招集時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと

- (1) 招集所は、ヤンマースタジアム長居【メイン】マラソングート（第1曲走路中央付近）に設ける。ヤンマーフィールド長居【サブ】で行われる競技についても同場所とする。
- (2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、競技日程を参照のこと。
- (3) 招集方法については、次の通りである。
  - ①競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、競技役員から点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピンおよび靴底の厚さ・競技場内で着用するウェアや持ち込むバック類の商標の点検を受ける。また携帯電話等、競技規則 TR6. 3. 2 に関する機器を持ち込んでいないか確認を受ける。競技場内に持ち込めない物は、競技者係で預かり、T I Cにて返却する。  
※点呼・点検等が済んだ選手から速やかに競技場所へ移動すること（誘導・指示は競技役員）
  - ②トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を2枚競技者係から受け取る。
  - ③2種目同時に出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が、T I Cに用意した「2種目同時出場届」に記入し第1種目の招集開始時刻までに招集所に提出する。
  - ④リレーに出場するチームは、所定のリレーオーダー用紙に記入し、第1組の招集完了時刻の1時間前までに、招集所に提出する。提出後の変更は負傷等の場合を除き認めない。
  - ⑤代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた競技者は出場できない。
  - ⑥男女の棒高跳はヤンマースタジアム長居【メイン】の競技実施場所で招集を行う。  
（ピットは、Bゾーンに設置する）

### 5 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) アスリートビブスは、配布された大きさのままユニフォームの胸部・背部につける。  
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識2枚（招集所で配布）を両腰につける。
- (3) 5000m、10000m、5000m 競歩、Jr5000m 種目は別アスリートビブス（腰ナンバーと同じ番号）を着用する。
- (4) トランスポンダー付き腰ナンバー標識について（男女10000mのみ）。
  - ・周回のトランスポンダー付き腰ナンバー標識は招集所で配布し、左腰につける
  - ※トランスポンダー付き腰ナンバー標識は、レース終了後にフィニッシュ付近にて回収する

### 6 競技について

- (1) トラック競技は全て写真判定装置を使用する。  
投てき競技（砲丸投は除く）および棒高跳は光波距離計測装置を使用する。
- (2) 短距離種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。  
スタート・インフォメーション・システムに不具合が生じた場合は、スタート審判長の判断によりスタートをやり直す場合がある。
- (3) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はエントリーリスト（当日番編種目はスタートリスト）記載順で行う。
- (4) 準決勝・決勝の組み合わせおよびレーン順は、主催者が公正に決定しその結果を速報サイトに掲載する。
- (5) 男子100mのS標準記録有資格者は予選（9/25）から競技を開始する。  
※女子100m予備予選はエントリー人数により廃止し、全員予選（9/25）からの参加とする。

男子走幅跳のS標準記録有資格者は決勝（9/25）から競技を開始する。

※東京五輪出場招待選手については、S標準記録有資格者と同様の扱いとする

男子投てき4種目の予選ラウンドは、エントリー人数により廃止し、全員各決勝の時刻からの参加とする。

※砲丸投げ（男女）のみ、ヤンマーフィールド長居【サブ】での決勝とする

- (6) トラック競技における次のラウンド進出者のプラスの決定について、その最下位で100分の1秒単位で同記録があった場合、1000分の1秒で着差判定をして進出者を決める。着差がない場合でレーン数に余裕があれば同記録の者は次のラウンドへ進出できる。レーン数の不足する時は抽選する。
- (7) 競歩競技について
- ①残り100mからフィニッシュまでの間で競技者の歩型がTR54.2に明らかに反する時、競歩審判員主任はその競技者にそれまでに出示されたレッドカードの有無に拘わらずその競技者を主任単独で失格にする権限をもつ。
- ②男子23分、女子27分を過ぎて新たな周回には入れない。
- (8) 三段跳の踏切板は、男子13m・女子10mの地点とする。
- (9) 4×100mRの2～4走者のマークは主催者が用意したものを使用すること。また、競技終了後の回収は各チームで責任をもって行うこと。
- (10) フィールド競技の公式練習は原則2回とし、全て競技役員の指示に従う。競技開始までに時間がある場合は3回目以後の練習もありうる。ただし、投てき公式練習は1回のみとする（やり投2回）。
- (11) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
- ① 荒天、その他特別な状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。
- ② 棒高跳の公式練習は、任意の高さおよびアップライトの位置（現地で担当競技役員に申告する）で試技順に2回行う。ゴムバーの高さを正規の高さに設定して行う。

種目	練習	バーの上げ方	
男子走高跳	1m90	1m90～2m10 まで 5cm 刻み	以後 3cm 刻み
	2m10		
女子走高跳	1m60	1m60～1m70 まで 5cm 刻み	以後 3cm 刻み
	1m70		
男子棒高跳	任意の高さ	4m80～5m00 まで 20cm 上げ 5m00～5m30 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み
女子棒高跳	任意の高さ	3m40～3m90 まで 10cm 刻み	以後 5cm 刻み

- (12) 跳躍競技で使用するピットは、男子走幅跳（予選）・男子三段跳（決勝）・女子走幅跳（決勝）は2ピットで行い、他はすべての競技で1ピットとする。
- (13) 男子100mの予備予選、男子走幅跳の予選ラウンドについて  
男子100mは予備予選、男子走幅跳においては予選ラウンドを実施するため、通過条件を以下のとおりとする。

種目	通過条件
男子100m	①予備予選はタイムレース ②上位X名が予選へ進出 ③X = (予選24名 - S標準記録有資格者数) ※予備予選2時間前までの欠場届を集約（S標準記録参加者含む）
男子走幅跳	①予選ラウンドの試技は3回 ②上位Y名が決勝へ進出 ③Y = (決勝12名 - S標準記録有資格者数) ※予選ラウンド2時間前までの欠場届を集約（S標準記録有資格者含む）

**※1. 女子 100m 予備予選はエントリー人数により廃止し、全員予選 (9/25) からの参加**

**※2. 東京五輪出場招待選手については、S 標準記録有資格者と同様の扱い**

**※3. 男子投てき4種目の予選ラウンドは、エントリー人数により廃止し、全員各決勝からの参加**

## 7 コーチングエリアの設置について **※「3密」回避の徹底 「ガイドライン」参照**

- (1) フィールド競技については、コーチングエリアを設置する。
- (2) 競技中の競技者に対するアドバイスは、コーチングエリア内で行うこと。
- (3) メインスタンド下段のコーチングエリア【走幅跳・三段跳】についてはコーチングパスが必須。

## 8 競技場への入退場について **※入退場時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと**

- (1) 競技場への入退場は、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技に出場する選手は、ヤンマースタジアム長居マラソンゲート（第1曲走路中央付近）に設置する招集所から競技場内に入場する。
- (3) ヤンマースタジアム長居【メイン】での競技が終了した選手は、ヤンマースタジアム長居【メイン】第1ゲート（フィニッシュ付近）に設置するミックゾーンを通過して退場する。（招集所からの退場は不可）
- (4) 表彰対象者およびドーピング検査対象者については、競技役員の指示に従う。
- (5) ヤンマースタジアム長居【メイン】バックスタンド下室内練習場を使用する場合は、ADカードを着用の上、第2ゲート（1500mスタート付近）から入退場する。

## 9 競技用靴・用器具について

- (1) シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）  
本大会は、WA規則第143条（TR5）の改定ルールを適用する。  
※詳細は日本陸連HP参照  
<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

**※【フィールドシューズ申請書：別紙参照】提出先：招集所（各競技招集時に提出）**

- (2) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。  
ただし、投てき用器具は、各人所有のものを検査の上使用することができる。  
投てき用器具の検査受付は、各競技種目の競技開始時刻 90 分前までにT I Cに持参すること。  
出場する競技者もしくは代理人が「投てき用器具検査申請書」と共に直接持参すること。検査後の用器具は、主催者預りとし、その用器具は全競技者が使用できるものとする。返却は競技終了後、競技場所ですりかき書と引換に行う。  
棒高跳用ポールについては、棒高跳ピットにて担当競技役員が検査を行う。
- (3) フィールド競技で助走路に使用するマーカーは、主催者が用意したものを2個まで使用することができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個使用することができる。

## 10 抗議・上訴について

- (1) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技規則 TR7 に定められている時間内（同一日に次ラウンドが行われる場合にはアナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に競技者または代理人がT I Cに申し出る。その後、T I Cを通して審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (2) さらに、審判長の裁定に不服の場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。（TR8. 7. 2）

## 11 ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストはJADAおよびJAAFの規則に従い実施するので、係員より指名された競技者はテストを受検すること。

(1) ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

## 12 表彰について ※表彰時の「3密」を避けるため、現地で競技役員の指示に従うこと

(1) 各種目3位まで入賞者(チーム)を表彰し、競技終了直後(第1コーナー付近)に行く。

※リレー種目は、第4走者のみの表彰とする

(2) 各種目の優勝者には選手権章、3位までの入賞者には副賞を授与する。

(3) 団体総合及び男女別総合得点優勝チームは9月26日(日)の全競技終了後に表彰を行う。第2位から6位までのチームに賞状を授与し、後日送付する。総合得点が同点の場合、優勝種目の数により決定する。なお、優勝種目が同数の場合、2位の数により決定する。以下これに準ずる。クラブチーム登録者が8位以内に入賞した場合はその順位の得点は付与しない(繰り上げなし)。但し、順位による個人表彰は対象とする。

## 13 その他

(1) ADコントロールを実施するため、配布したADカードは常に携帯する。監督・コーチのADカード配布上限枚数については、競技者1名につき1枚、2名~3名は2枚、4名以上は3枚以内とする。リレー種目のみのエントリーの場合は、1チームにつき1枚とする。

※1. チーム関係者ADは、「監督・コーチ」ADと同数とする

※2. メインスタンド下段用コーチングパスについては、「ガイドライン」参照

(2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。

(3) 更衣室は、23日(木)のみヤンマースタジアム長居【メイン】、24日(金)以降はヤンマーフィールド長居【サブ】に設ける。

※「3密」回避の徹底 「ガイドライン」参照

(4) 記録はその都度発表(速報サイト)する。

(5) スタンドの応援については、コーチ席や撮影禁止区域、報道エリアなどテープで制限した範囲以外の席とする。

※感染予防のため「ガイドライン」が定める応援マナーを遵守すること。

(6) 応援の際の応援グッズ(スティック、衣類、帽子等の手持ちのもの)については、所属企業・チーム名および競技者名の掲載を認める。

応援旗・部旗・横幕・幟・小旗等の固定のものについては、競技場内(スタンド)には企業名のみ表記してあるものは不可とし、競技者を応援する表現のみ可とする。

Ex. 可: ○◇株式会社 △□選手がんばれ!!

不可: ○◇株式会社

※固定のものについては、選手・関係者席の中央手すりのみ可とし、競技場最前列は全面禁止とする(一般観客席は×)。

ただし、競技運営などに支障がある場合は、撤去または移設を指示する場合がある。

毎日撤去して持ち帰ること(夜通しの固定は不可)。

(7) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。

(8) 遺失物類についてはT I Cで管理する。

- (9) 撮影禁止区域を設ける。場所については規制区域図を参照のこと。
- (10) 応急処置を必要とする事故が発生したときは、救護室で処置を受けることができる。
- (11) 「ポール・やり」の返送のみ着払いに限り中央正面玄関横「実業団連合事務局」で対応する。  
※詳細は、別添「ポール・やりの返送について」を参照のこと
- (12) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の一般社団法人日本実業団陸上競技連合に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用することがありますのでご了承ください。
- (13) 提出書類等については下記の通り行う。(各用紙はT I Cで配布する)

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	当競技注意事項の「2 エントリー確認手順について」の「(3)欠場届け提出手順・日程について」参照	
2	2種目同時出場届	競技者係(招集所)	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	競技者係(招集所)	第1組招集完了1時間前まで
4	用器具検査申請書	T I C	各競技種目の競技開始時刻90分前まで
5	抗議申立て(口頭)	T I C(経由審判長へ)	正式記録発表後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
6	上訴申立書(文書)	総務員(T I C・抗議)	審判長裁定後30分以内まで、同一日に次のラウンドがある場合は、15分以内まで
7	プログラム訂正届	競技者受付	9月24日は14時00分まで
			9月25日・26日は9時00分まで

- (14) 開門時刻及び閉門時刻は次のとおりとする。

期日	開門時刻		閉門時刻	
	ヤンマースタジアム 【メイン】	ヤンマーフィールド 【サブ】	ヤンマースタジアム 【メイン】	ヤンマーフィールド 【サブ】
9月23日(木)	12時00分	—	18時00分	—
9月24日(金)	—	13時00分	—	21時00分
9月25日(土)	—	8時00分	—	20時30分
9月26日(日)	—	7時30分	—	19時15分

- (15) 監督会議については、24日(金)14時30分～実施する。

場所：メインスタンド下室内走路

※「3密」回避の徹底 「ガイドライン」参照

# 練習会場に関する注意事項

1 練習会場および使用時間は、下記の通りとする。

会場名	競技種目	9月23日 (木)	9月24日 (金)	9月25日 (土)	9月26日 (日)	
ヤンマースタジアム 【メイン】 9レーン	トラック種目	12:00~18:00	×	×	※4 中学生のみ 7:30~9:20	
	ハードル・走幅跳・三段跳	12:00~18:00	×	×	×	
	棒高跳 ※1	×	×	女: 9:00~ 男: 13:30~	×	
ヤンマーフィールド* 【サブ】 9レーン	トラック種目	×	13:00~21:00 ※2	8:00~20:30 ※2	7:30~18:30	
	ハードル・走幅跳・三段跳・走高跳	×	13:00~18:00	8:00~20:00	8:00~16:00	
	砲丸投	決勝練習	×	×	※3	※3
		決勝時刻	—	—	女 11:30 ※2	男 12:15 ※2
	やり投	決勝練習	×	×	9:15~10:30 ※2	12:00~13:15 ※2
		決勝時刻	—	—	女 11:15	男 14:00
	円盤投※2	決勝練習	×	×	※3	※3
		決勝時刻	—	—	男 16:30	女 9:40
	ハンマー投 ※2	決勝練習	×	×	※3	※3
		決勝時刻	—	—	男 13:45	女 11:40
ヤンマースタジアム 【メイン】 室内練習場	トラック・ハードル・W-UP	12:00~18:00 (雨天の場合のみ使用可)	13:00~19:00	8:00~20:00	8:00~18:00	

## ●練習可能な競技種目

	ヤンマースタジアム長居【メイン】	ヤンマーフィールド長居【サブ】
9月23日(木)	トラック種目(ハードル含む) 走幅跳・三段跳	他団体貸切利用のため練習不可
9月24日(金)	全ての種目練習不可	トラック種目(ハードル含む) 走幅跳・三段跳・走高跳
9月25日(土)		トラック種目(ハードル含む)
9月26日(日)	練習不可(中学生リレー予選のW-upのみ)	走幅跳・三段跳・走高跳 投てき種目(やり投げのみ投てき可) ※2、3

※1 男女の棒高跳は主競技場での練習に引き続き正式競技を開始する。

※2 ヤンマーフィールド長居【サブ】にて男女やり投の練習、男女砲丸投(決勝)を実施する以下の時間帯はトラック練習を一部規制する(第2曲走路~直線スタートライン付近)。

○競技役員の指示に従うこと

- ・9月25日(土) 9時15分~10時30分(女子やり投)、11時00分~12時15分(女子砲丸投)
- ・9月26日(日) 11時45分~13時45分(男子砲丸投)、12時00分~13時15分(男子やり投)

※3 やり投げ以外の投てき種目においては、投てき練習はできないがサークルでの練習は可とする。

※4 中学生4×100mR(予選)のウォーミングアップのみ、ヤンマースタジアム長居【メイン】で行う。

- ・9月26日(日) 7時30分~9時20分

- 2 入退場時には、必ずADカードを提示すること。
- 3 練習は、競技役員の指示のもと、事故防止に十分配慮して行うこと。
- 4 練習に使用する用具は、原則として各自持参すること。(スタブロ、ハードルは準備あり)
- 5 スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし走高跳・やり投げのスパイクについては、12mm以下とする。
- 6 練習におけるレーンの使用については下記のとおりとする。
  - ヤンマースタジアム長居：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは禁止する）
    - ・1～3レーン：中・長距離・競歩種目
    - ・4～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
    - ・8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
    - ・8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する  
(ホームストレートは除く)。
  - ヤンマーフィールド長居：9レーン（芝生内でのW-UPおよびC-DOWNは禁止する）
    - ・1～3レーン：中・長距離・競歩種目
    - ・4～7レーン：短距離種目（ホームストレートはスタート練習）
    - ・8、9レーン：100mH、110mH（ホームストレート）
    - ・8、9レーン：400mH、第1曲走路からバックストレートにハードルを設置する。  
(ホームストレートは除く)
- ◇小学生4×100mRと100m、中学生4×100mR（決勝）のウォーミングアップはヤンマーフィールド長居【サブ】バックスタンド裏練習走路を利用する。
- 7 室内練習場のウォーミングアップは、反時計廻りの一方通行とする。
  - ※「3密」を回避の徹底、「ガイドライン」参照